



道路・交通分野における若手研究者の研究に対する助成について

我が国が少子高齢化に伴う人口減少社会を迎えている一方、グローバル市場における国際競争は激化しています。こうした中で、潜在的な成長力を高め、新たな需要を喚起するには、イノベーションや生産性の向上が不可欠です。こうした一翼を担うのは研究人材であり、有望な研究者の育成は喫緊の課題となっています。しかし、特に若手の研究者がチャレンジングな研究を行うための環境は十分ではなく、とりわけ、研究のための費用の不足が指摘されており、このことは、道路・交通分野の研究についても例外ではありません。

阪神高速道路(株)では、一般財団法人阪神高速道路技術センター及び一般財団法人阪神高速地域交流センターとともに、若手研究者の育成に寄与する社会貢献の一環として、更にはその研究の成果を当社の高速道路サービスの向上にも活かすため、新たに「阪神高速若手研究者助成基金」を設け、毎年公募によって、都市における高速道路に関する研究に対して助成金を支給することとしました。

2018年度については、2017年12月11日から2018年2月28日まで募集を行い、構造物、舗装、交通工学、経済など幅広い分野から22件の応募をいただき、これらを社内選定委員会において厳正に審査した結果、次の3件の研究(計約450万円)を助成することを決定しました。

研究課題名	所属	職名	氏名
環境の視認性に着目した視行動と運転行動の関係分析	名古屋大学 未来社会創造機構	特任准教授	平山 高嗣
コンクリート充填橋脚の強度と変形性能を独立して自由に制御するための3層充填構造の開発	名古屋工業大学 社会工学専攻	助教	海老澤 健正
プレキャスト・プレストレストコンクリート橋脚を用いたレジリエント構造に関する研究	神戸大学 工学研究科	准教授	三木 朋広

研究課題名の50音順 所属等は応募書類による

なお、その研究成果については、2019年6月頃、HP等で公表する予定です。